[令和5年12月11日県土整備常任委員会]

◆宇野裕 委員 早速質問させていただきたいと思います。道路問題を中心に御質問させていただきたいと思います。よろしく願いをいたします。

まずは、銚子連絡道路についてであります。このテーマは何度か質問させていただいておりますけども、改めましてお伺いをさせていただきたいと思います。広域的な幹線道路ネットワークにアクセスする道路の整備について、銚子連絡道でありますけども、お伺いをさせていただきたいと思います。

この銚子連絡道路は、圏央道に接続し、山武・東総地域の広域的な幹線道路ネットワークを形成するとともに、農林水産物の販路拡大や地域経済の活性化を図り、防災力を向上させる大変重要な道路だと認識をしているところでございます。現在、横芝光町から匝瑳市間については、私も今申し上げましたように、常々現地を確認をしております、いよいよ今年度の開通に向けて工事が最盛期を迎えていると見受けられ、地元でも大きな期待が集まっているところでございます。一方、工事は天候に大きく左右されるところもありますので、前倒しで工事を進められるように、しっかりと工程管理と、特に安全管理が必要であると認識しているところでございます。

そこでお伺いをいたします。銚子連絡道の横芝光町から匝瑳市間の進捗状況はどうか。

◎説明者（齊藤道路整備課長） 道路整備課でございます。

銚子連絡道の進捗状況の御質問でございますけども、銚子連絡道の横芝光町から匝瑳市間の5キロメートル区間については、横芝光町では国道126号やJR総武本線をまたぐ橋梁が概成し、現在、道路改良工事を進めているところであり、今後、工事の最終段階となる舗装工事に着手する予定としております。また、匝瑳市においても舗装工事等を進めてるところであり、引き続き安全な施工に配慮しつつ工程管理の徹底を図りまして、今年度中の供用に向け事業を推進してまいります。

以上でございます。

◆宇野裕 委員 ありがとうございます。要望でありますけども、銚子連絡道路には、地元でも非常に大きな期待が集まると先ほど申し上げました。これは、道路ができました、それで移動時間が短縮されたということだけではなくて、その効果を地域の活性化につなげなければならないというふうに思っているところでございます。そのために、県のいろいろな御支援やお知恵をお借りして、インターチェンジ周辺の産業用地の整備を目指しているところでございます。引き続きしっかりと安全に配慮していただきつつ、確実に今年度中に開通できるよう、全力で工事を進めていただきますよう要望いたします。これが遅れますと、次の産業用地の受皿づくりもずれていきますので、ぜひよろしくお願いをしたいと思います。

次に、委員長の許可をいただきまして資料を配付させていただきました。こちらの資料でございます。御覧をいただきながらお聞き取りいただければありがたいなというふうに思います。

圏央道と銚子連絡道の関係についてであります。圏央道については、県内唯一の未開通区間であり大栄―横芝間の整備が進められているところではありますが、開通見込みが当初の令和6年度から令和8年度に延期され、この資料が示しておりますブルーのゾーンですね。これ、令和7年度の開通というふうに示されておりますけれども、大栄ジャンクションから国道296号インターチェンジ間は、その中でも1年程度前倒しが示されたところでもあります。そのように聞いております。銚子連絡道の横芝光町から匝瑳市間については、圏央道の全線開通に先立ち、令和5年度の供用に向け、ただいま御答弁いただきましたように事業を進めてまいりましたが、大栄―横芝間の開通が当初より遅れたことは非常に残念であるというふうに思っているところがございます。今後は圏央道の工事の進捗状況をしっかりと確認していく必要があると考えております。

そこでお伺いいたします。銚子連絡道と接続する圏央道の大栄―横芝間の進捗状況はどうか。

◎説明者（横田道路計画課長） 道路計画課でございます。

圏央道の大栄―横芝間につきましては、用地取得とか土壤汚染対策法の手続きは全て完了してございまして、現在、（仮称）芝山トンネルであるとか（仮称）高谷川高架橋の下部工事など、全面的に今工事が進められているところでございます。また、圏央道の大栄―横芝間と銚子連絡道路が接続する松尾横芝インターチェンジについては、ランプ橋の下部工事が完了してございまして、現在、上部工事が進められているところでございます。県としても、圏央道の新たな開通見込みの確実な達成に向けて、沿線市町とともに国や東日本高速道路会社に協力していきたいと思っております。

以上でございます。

◆宇野裕 委員 ありがとうございます。要望でありますけれども、銚子連絡道の横芝光町から匝瑳市間は、先ほど御質問でも申し上げましたとおり、今年度中に開通をすると力強い答弁をいただきました。匝瑳市から成田方面へのアクセス向上のためにも、圏央道の新たな開通目標の確実な達成に努めていただきたいというふうにお願いを申し上げたいと思います。

続いて、自転車活用推進計画についてお伺いをさせていただきたいと思っております。令和2年2月議会において、私の一般質問においても、この問題を取り上げさせていただいたところではありますが、自転車は幅広い年齢層が利用する身近な交通手段であり、安全で快適に自転車を利用できる社会を実現することが重要であると考えているところがございます。県では、令和2年度から令和4年度までを計画期間とした自転車活用推進計画を策定し、太平洋岸自転車道のナショナルサイクルルートへの指定や自転

車損害賠償保険への加入の義務化など、様々な施策が実施されておりますが、引き続き自転車の活用に関する取組を進めていく必要があると考えてるところでございます。

そこでお伺いをいたします。自転車の活用推進に向けた県の取組状況はどうか。よろしく申し上げます。

◎説明者（横田道路計画課長） 道路計画課でございます。

県では、自転車の活用を総合的かつ計画的に推進していくために、令和2年度に自転車活用推進計画を策定いたしました。この推進計画は、庁内、県警とか教育庁も含む9部局23課にまたぐ自転車に関するあらゆる施策を取りまとめたものでございます。これまでに自転車の通行空間として矢羽根型路面標示の設置など、サイクリングロードの整備を進めるとともに、委員からも御指摘のありましたナショナルサイクルートの指定であるとか自転車の保険加入の義務化など、様々な施策に取り組んできたところでございます。

今後、次期計画の策定についてでございます。これも、今、関係部局とも連携して計画の素案を取りまとめたところでございまして、現在、学識者であるとか有識者、あと関係団体などに今ヒアリングを実施してるところでございます。今後、市町村への意見交換であるとかパブリックコメントを実施して、速やかに計画を策定していきたいというふうに考えてございます。

以上でございます。

◆宇野裕 委員 ありがとうございます。しっかり取り組んでいただきたいというふうに思います。

続きまして、あまり質問したくないんですけども、あえて私のほうから質問をさせていただきたいと思います。先週、千葉県住宅供給公社の職員が詐欺の疑いで逮捕されたとの報道がありましたが、この件についてお伺いをさせていただきたいと思います。

報道では、公社職員と業者が共謀した事件とありますが、今回の事件の概要をお聞かせください。

◆宇野裕 委員 事件の概要は分かりました。県は公社を指導監督すべき立場にあると思います。

そこでお伺いをさせていただきたいと思います。今回の事件を受けて、県として今後どのように対応なされるおつもりなのか。御答弁、よろしく申し上げます。

◎説明者（松村住宅課長） 今後の対応についての御質問ですが、県といたしましては、従来から公社に対し立入検査や監査等を実施しておりますが、今後は今回の事案を踏まえまして、公社が改善策、再発防止策に具体的に取り組むよう、さらに指導監督を徹底してまいりたいと考えております。

また、架空工事において受けました被害につきましては、容疑者に対しまして損害

賠償請求するよう、公社を指導してまいりたいと考えております。

以上です。

◆宇野裕 委員 ありがとうございます。あえて私のほうから質問したというのは、やはり新聞にも載りましたし、県民が県や公社に対して抱いてきた信頼感を、この事件がそれを覆すようなことになってしまったのではないかなとすごく心配をしている思いから質問をさせていただいたところでございます。今、容疑の段階でありますけども、このような事件が二度と起こらないように指導監督をしっかりとやっていただいて県民の信頼を取り戻していただきたいと心からお願いをして、私の質問を終わります。

以上です。